

HDDスタンド HYBRIDへの 内蔵HDDの取付け手順

MAL-1335B/S
(2.5/3.5インチハードディスクスタンド)

[はじめにお読みください]

[安全上の注意を必ず守っていただくよう、お願い致します。]

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただく内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただきますようお願い致します。

警告

- ◆本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。
- ◆機器の分解、改良はしないでください。火災や感電の原因となります。
- ◆煙がでたり、異臭や異音が出たら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。また、その他製品の異常がありましたらご使用をやめ、速やかに弊社サポートまでご連絡ください。
- ◆電源コード、接続コードの上にもものをせたり、傷つけたり、折り曲げ、押し付け、加工などは火災や感電の原因になりますので行わないでください。
- ◆電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。ショート、発熱の原因となり火災、感電の恐れがあります。
- ◆本体を濡らしたり、水気のある場所で使用しないでください。感電や火災、本製品の故障の原因となります。
- ◆無理にHDDを引き抜いたり、ネジを取ったりすると、おケガをされる場合がございますので、十分ご注意ください。

注意

- ◆電源コンセントは、なるべく電源コンセントへ直接接続してください。また、長期間使用しない場合は、コンセントを外してください。
- ◆本製品を暖房器具などの熱をもつ器具の周りに設置しないでください。過熱による火災・故障の原因となります。
- ◆本製品の口に入る小さな部品があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ◆パワー・アクセスランプが点滅している間は、電源スイッチをOFFにしたり、パソコンをリセットしないでください。故障の原因になります。データが消える恐れがあります。
- ◆本製品は精密電子機器ですので、身体の静電気を取り除いてからご使用ください。静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

[注意事項]

- これらの製品は、ハードディスクは含まれておりません。
- USB2.0の機能を利用するにはUSB2.0端子搭載のデバイスをご利用ください。
- 本パッケージの記載内容は、改良その他により予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。
- 社名及び製品名は各会社の商標または登録商標です。
- 本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他の理由によって破壊された場合でも、弊社での一切の保証はいたしかねます。万が一に備えて重要なデータはあらかじめバックアップするようお願い致します。
- 営業/サポートの受付は平日のみとなります。

【手順】

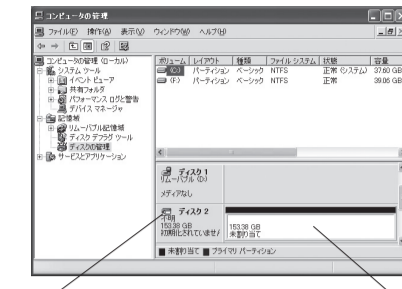
- ①付属のUSBケーブルのコネクタを本製品のUSBポートに接続し、反対側のコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。
- ②ACアダプタをコンセントに差し込みます。
- ③パソコンを起動してから本製品の電源を入れます。

※新しいハードディスクを接続した場合は、ドライブのフォーマットが必要です。フォーマット方法をご覧ください。

※eSATAケーブルの接続も同様です。

新しいHDDのフォーマット方法

1. WindowsXP(Vista)の「スタート」メニューから「マイコンピュータ」(Vistaは「コンピュータ」)を右クリックして、「管理」をクリックして下さい。
2. 「記憶域」の下の「ディスクの管理」をクリックすると、各種のドライブが表示されます。(次ページ図参照)
未フォーマットのハードディスクが接続されると「不明」と表示されます。(次ページ図の①)
「不明」と書かれた部分を右クリックして(次ページ図の①)、表示されるメニューから「ディスクの初期化」を選択し「OK」ボタンをクリックします。
この作業でハードディスクが初期化され、パーティションの設定やフォーマットができるようになります。
3. 次に「パーティションの設定とフォーマットを行います」
「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、表示されるメニューから「新しいパーティション」の設定と「フォーマット」を行います。(次ページ図の②)
フォーマットの作業が完了すると、マイコンピュータでもハードディスクが認識され表示されます。



①右クリックし「ディスクの初期化」を行う。

②右クリックし「パーティションの設定」 「フォーマット」を行う。

■ Windows XP

未割り当ての領域にパーティションを設定しフォーマットを行います。
「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、表示されるメニューから「新しいパーティション」を選択して下さい。
「新しいパーティションウィザード」が起動しますので、「次へ」をクリックして下さい。
作成するパーティションの種類は、「拡張パーティション」を選択して次に進みハードディスクを複数のドライブとして使うときは「パーティションのサイズ(容量)」を変更して次に進みフォーマットのメニューが表示されたら内容を確認してフォーマットを行って下さい。
※残りの「未割り当て」部分は上記と同様の手順でパーティションの設定とフォーマットを行って下さい。

■ Windows Vista

未割り当ての領域にパーティションを設定しフォーマットを行います。
「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、表示されるメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックすると「新しいシンプルボリュームウィザード」が起動しますのでパーティションの設定とフォーマットを行って下さい。
※ハードディスクを複数のドライブとして使うときは「シンプルボリュームサイズ」の数値を変更してパーティションの設定とフォーマットを行って下さい。

3

4

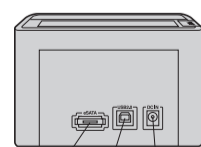
●新しいハードディスクを搭載し、ハードディスクの認証／初期化を行っていない場合には、アイコンは表示されません。Windows 2000/XP/Vista をお使いの場合は管理ツールにより、ドライブの認証と初期化を行ってください。

パッケージ内容の確認

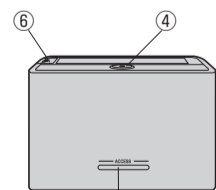
1. HDDスタンド本体
2. ACアダプタ
3. USBケーブル 1本
4. eSATAケーブル 1本
5. 簡易マニュアル

本体各部の名称とはたらき

- ① **USBポート(USB2.0)**
付属のUSBケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続します。
- ② **eSATAポート**
付属のeSATAケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続します。
- ③ **電源コネクタ(DC IN)**
付属のACアダプタの電源プラグを差し込みます。本製品に添付のACアダプタ以外は使用しないでください。
- ④ **電源ボタン(POWER)**
ボタンを押し込むと本製品の電源が入ります。もう一度ボタンを押すと、電源が切れます。本製品の電源が入っているときに点灯します。
- ⑤ **HDDアクセスランプ**
ハードディスクにアクセスしているときに点滅します。
- ⑥ **イジェクトボタン**
HDDを取り出すときに押してください。※必ず手を添えてください。イジェクトボタンはHDDを取り出す時の補助機能としてお使いください。



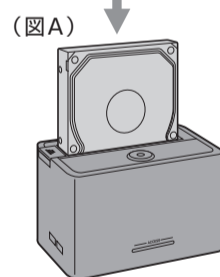
(後面)



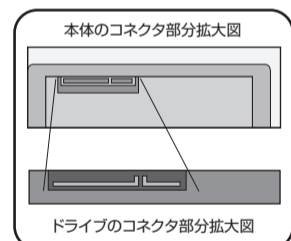
(前面)

ハードディスクの接続

コネクタの向きに気をつけて、静かにまっすぐ差し込みます。



(図A)

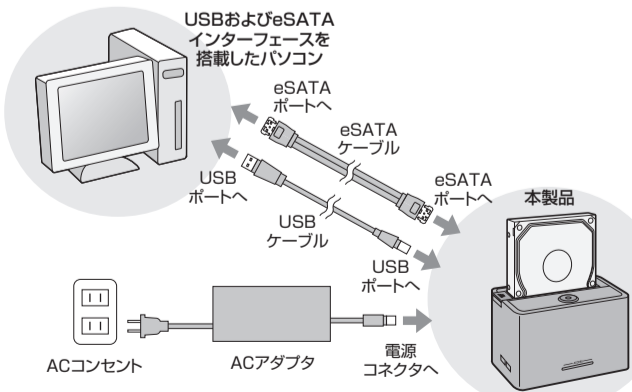


※ドライブ側のコネクタの向きを間違えたり、無理な抜き差しを行なうと破損の恐れがありますので、ご注意ください。

ハードディスクのSATAコネクタと、本体のSATAコネクタの向きに気をつけて、ハードディスクドライブを上からまっすぐ差し込みます。

パソコンと接続

ハードディスクを接続した本製品をパソコンに接続します。



※eSATAケーブルを接続する場合は、パソコン側にeSATA端子が必要です。
(注意)USB接続で使用する時は、eSATAケーブルは接続しないでください。

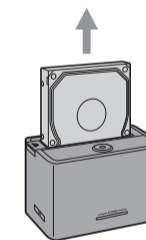
2

接続確認

スタート→マイコンピュータでドライブ表示が追加されたか確認してください。

本製品のパソコンからの取り外し

本製品のパソコンからの取り外しは、タスクバーのUSBアイコンをクリックしていただき「ハードウェアの安全な取り外し」を選択してから行ってください。本製品の電源を切ってから、イジェクトボタンを押しながら、HDDに手を添えて、ゆっくり持ち上げるように抜いてください。



5

どこよりも安い!! ハードディスクを格安で買うなら!

HDD専門店 ハードディスク激安市場

その他PCパーツも多数品揃え!

もちろんMARSHAL製品も取扱あります!

ハードディスク激安市場
<http://shop.marshall-no1.jp/>

データ・リカバリーサービス

データリカバリーサービスとは、何らかの障害により破壊された、コンピュータ及び様々な電子機器使用されている記憶装置や媒体に保存されているお客様の大切なデータを迅速に救出し、回収、復旧、修復するサービスです。弊社では、CBL Japan と業務提携を結び、より高い確率でデータの回収に成功しております。

特徴

- 初期診断無料
- 成功報酬型の復旧サービス(ノーデータ・ノーチャージ)
- 個人のお客様に「HDD復旧料金特別割引」のサービスを実施。
- あらゆるOSに対応、あらゆる記録メディアからのデータ復旧

詳しくは
<http://www.marshall-no1.jp/service/index.html>